

2026年5月25日  
東海旅客鉄道株式会社

## 在来線 名古屋駅2番線におけるホーム可動柵設置について

当社在来線では、ホーム上の安全性を一層高めるため、ホーム可動柵の整備を進めています。このたび、名古屋駅2番線（東海道本線上り）へのホーム可動柵の設置について、仕様および使用開始時期を決定しましたので、お知らせします。

### 1. 設置箇所

名古屋駅2番線（東海道本線上り）

### 2. ホーム可動柵の特長

東海道本線の快速や普通列車に使用する313系・315系の4両・6両・8両編成のドア位置に対応できるよう、最大約4.1mの開口幅を有する可動柵を設置します。

また、開閉システムにQRコード方式を採用することで、車掌がホーム可動柵を閉じる作業が不要となり、お客様の乗降等のホーム監視業務により注力できるなど、安全性の向上を図ります。



設置するホーム可動柵イメージ  
(画像は名古屋駅5番線に設置済みのもの)

項目	仕様
方式	腰高式ホーム柵
最大開口幅	4,100mm
開閉システム	QRコード方式
安全機能	戸挟み検知、支障物検知、居残り検知、こじ開け検知、巻き込み検知、非常停止ボタン

※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

### 3. 使用開始時期

2028年10月

### 4. 設備投資額

約7.2億円